

会社概要

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名:WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	186名(連結)
連結子会社	和井田友嘉精機股份有限公司(台湾) WAIDA Europe GmbH (ドイツ)

役員

代表取締役会長	和井田 光 生
代表取締役社長	森 下 博
代表取締役副会長	久 保 朝 義
取締役	松 村 忠 典
取締役	比 良 謙 吾
取締役	疋 田 寿 久
取締役(監査等委員)	田 村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡 邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山 下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏および山下英一氏の両名は、社外取締役であります。両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式540,934株を含む)
株主数	3,801名

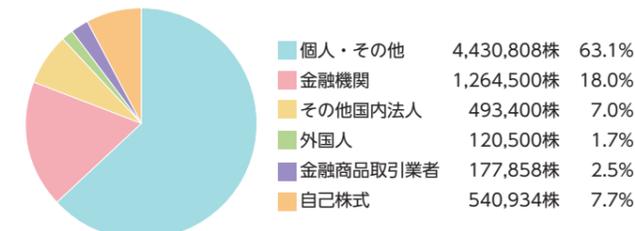
大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 光生	442,577	6.82
和井田 俣生	326,060	5.03
株式会社十六銀行	321,300	4.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	271,400	4.18
株式会社三菱UFJ銀行	256,000	3.95
和井田 叔子	216,000	3.33
和井田製作所従業員持株会	178,016	2.74
和井田 克子	121,200	1.87
和井田 雅生	120,800	1.86
岐阜信用金庫	110,000	1.70

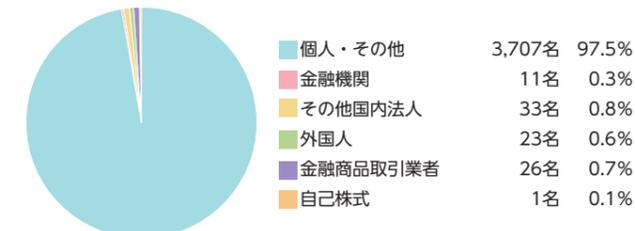
(注) 持株比率については、自己株式(540,934株)を控除して算出しております。

株式分布状況

○株式数構成比



○株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 アドレス: https://www.waida.co.jp/ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

初冠雪の槍ヶ岳 (岐阜県高山市奥飛騨温泉郷)

業績ダイジェスト (連結)

第95期上半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の当社グループは、期初の受注残と底堅く推移した受注を背景にほぼ計画どおりの結果となりました。通期業績予想につきましては、計画の範囲内での着地を見込んでおり変更はございません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
第95期 上半期実績	3,742百万円 前年同期比 6.3%増	529百万円 前年同期比 6.9%増	607百万円 前年同期比 6.9%増	382百万円 前年同期比 5.9%減
第95期 通期業績予想	7,681百万円 前期比 1.3%増	972百万円 前期比 15.9%減	979百万円 前期比 19.1%減	686百万円 前期比 20.9%減



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
 第95期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の当社グループは、国内市場や中国市場の需要が伸び悩む中、欧米市場を中心に積極的に営業展開を進め、計画達成に努めてまいりました。

下半期も厳しい受注環境が続く見通しですが、比較的好調な欧米市場はもとより国内外の他地域においても戦略的に販促活動を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 森下 博

第95期上半期の概要

第95期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の当社グループは、勢いを欠く国内市場や不動産問題等により低迷を続ける中国市場において受注が伸び悩む一方で、その他の地域で受注が堅調に推移したことから売上高は期初の計画をほぼ達成することができました。

特に欧米では、欧州子会社や米国ノースカロライナ支店を基軸に積極的に営業展開を進め、ハイエンドインサート研削盤APX-F50の評価が定着したことから、多くの受注をいただき売上の増加につながっております。

利益については、各種部材・部品のコスト上昇、海外販促経費の増加、設備投資による償却費負担増などの影響はありましたが、為替差益などのプラス要因により経常利益は計画を上回っております。

以上の結果、売上高は3,742百万円（期初計画比0.2%増）、営業利益は529百万円（期初計画比5.0%減）、経常利益は607百万円（期初計画比8.3%増）となりました。また、第95期中間配当金は、期初に公表いたしましたとおり1株につき20円とさせていただきます。

第95期の見通し

第95期下半期（2023年10月1日から2024年3月31日まで）について、一定の受注残を抱えているものの受注環境は調整局面が継続しており、期中の受注確保が今期業績の重要なポイントとなります。

この取り組みとして、欧米市場では切削工具関連を中心に順調に商談が進んでおり、国内からのサポートを強化し受注の上積みをめざします。また、国内・中国市場では大きな市況の改善は当面期待し難い状況ですが、一部に明るい兆しもあることから、市況の変化や商機を逃さないよう短納期対応等を進め、受注の獲得に努めてまいります。

利益に関しては、各種コスト増への対応として生産性向上や販売価格戦略の見直しなどの施策を進め、利益改善に取り組んでまいります。

以上の取り組みをもとに、概ね期初計画の範囲内での着地を見込んでおり、通期業績見直しに変更はございません。第95期期末配当金についても、期初計画に変更はなく、1株につき20円、左記の中間配当金と合わせ年間では1株につき40円を予定しております。

トピックス

MECT2023に出展いたしました

2023年10月18日～21日に名古屋市の「ポートメッセなごや」で開催されました工作機械見本市「MECT2023（メカトロテック ジャパン）」に出展いたしました。

会場では、昨年のJIMTOF2022（日本国際工作機械見本市）で発表した新製品「デジタルプロファイル研削盤SPG-XV」を展示し、実演とおして訪れた皆様へ先端のデジタル技術を体感していただきました。

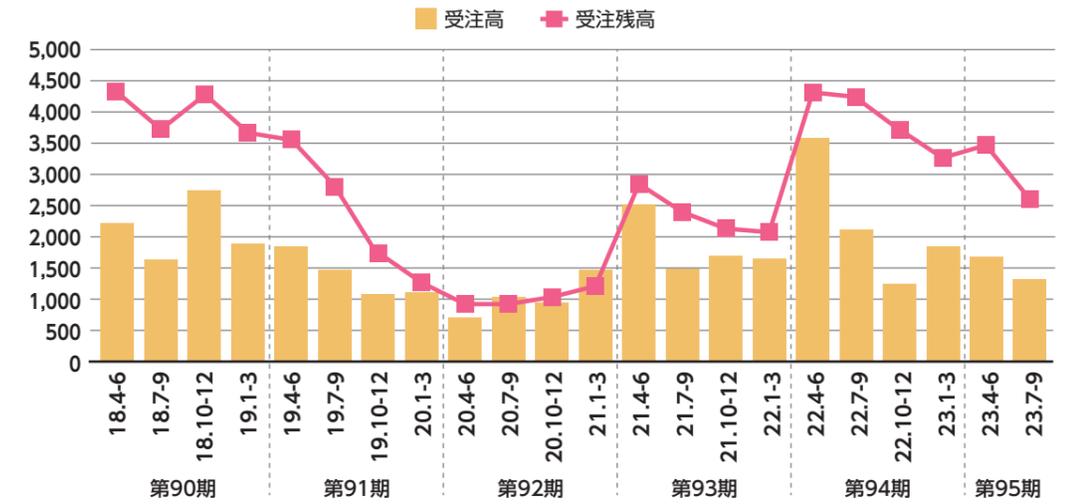
生産現場では熟練オペレーターの不足が喫緊の課題となっており、高精度加工機の操作に必要なとされる熟練の技をデジタル技術によりサポートする当社の取り組みは、会場でも高い評価をいただいております。

引き続き、新製品・新技術の提案とおして、新たな需要開拓、受注の獲得に努めてまいります。



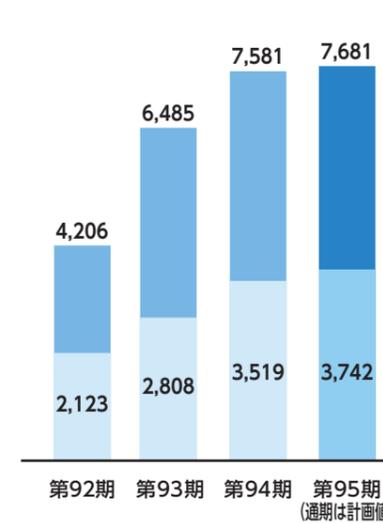
当社出展の様子

受注高・受注残高の推移(単位:百万円)



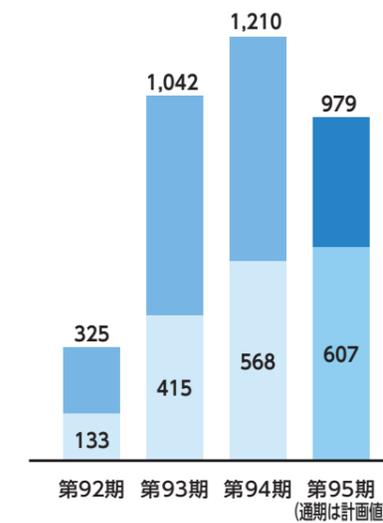
売上高(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



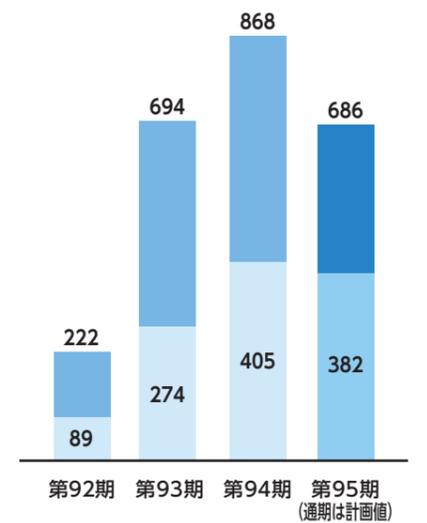
経常利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



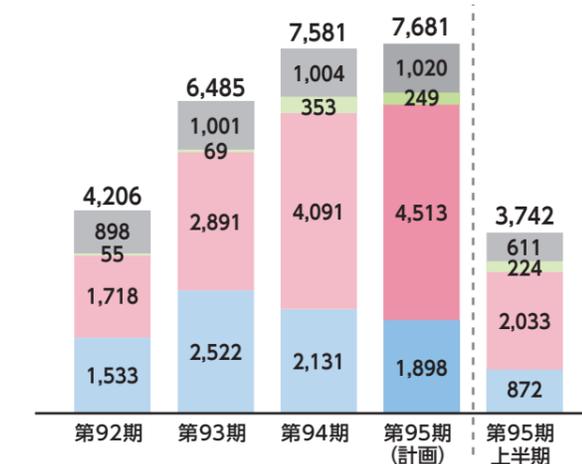
親会社株主に帰属する当期純利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



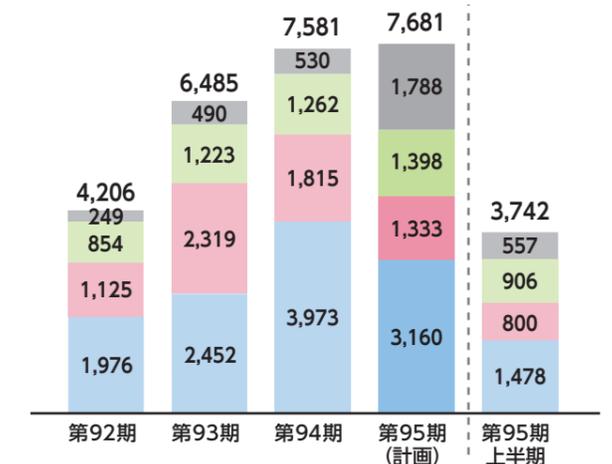
品目別売上高(単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械
 ■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)

■ 国内 ■ アジア地域(中国を除く)
 ■ 中国 ■ 欧米等



※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。